



## 2010 年度 家庭基礎 年間授業計画

### I. 目標

家庭科は、生活について考える総合的な教科である。生命と生活の再生産に関わる営みは、共に生きる人々や自然との関わりを抜きにしては語れない。

本教科では、生命と生活の再生産に必要な知識と技術の習得と、共に生きる人々の「こころ」を想う感性を磨き、健康で文化的な生活」と「個人の尊厳と両性の平等、相互協力」を実現する能力と実践的な態度を持つことを目指す。

生徒は、未来に、社会で仕事に関わる時、生活者の実状・実態を把握していなければ、それぞれの専門分野で活躍できない。日常生活においても、生きる営みと揺れ動く人の「こころ」に無縁では、人間らしい真の豊かさは得られない。中学で学んだ技術・家庭科を深め、他教科で学んできたこと、人生経験を整理し、すべて踏まえて、それらを統合し、人間らしい生き方を考える機会を持つ。そして、地球上に生きる生活者として、自分と自分以外の人のために何をするのか、卒業後の自らの進むべき道を確認なものとすることを目標とする。

### II. 年間授業計画

#### 1 学期 (4月～7月)

1. 「ガイダンス (何のために家庭科を学ぶのか)」
2. 「自立して生きる① (人の一生とライフステージ, 自分の人生を拓く)」
3. 「自立して生きる② (青年期と自立, 労働について考える)」
4. 「支えあって生きる① (家族とは何か, 幸せとは何か, 家族の中で生きる)」
5. 「支えあって生きる② (家族法, 家族をめぐる問題から生活を考える)」
6. 「支えあって生きる③ (D.V.の現状, 個人の尊厳や両性の平等)」
7. 「支えあって生きる④ (児童虐待の現状, 生きる権利)」
8. 「支えあって生きる⑤ (社会保障, 社会福祉, 命を支える仕組み, 生きる覚悟・希望)」
9. 「生命を育てる① (妊娠・出産・育児に関する法律と現状)」
10. 「生命を育てる② (乳幼児の発達と保育, 遊びから学ぶもの)」

<定期試験>

#### 2 学期 (9月～12月)

- 1 1. 「調理実習 1 (バナナカップケーキ, 調理の基本, 調理実習室でのマナー・使い方)」
- 1 2. 「食ることと健康 (私達は何を食べているのか, 何のために食べるのか, 安全な食生活)」
- 1 3. 「何をどれだけ食べればいいのか (食生活の見直し, 食事摂取基準, ペットボトル症候群)」
- 1 4. 「栄養素の種類とはたらき① (炭水化物, 炭水化物を多く含む食品)」
- 1 5. 「調理実習 2」
- 1 6. 「栄養素の種類とはたらき② (脂質, 脂質を多く含む食品)」
- 1 7. 「調理実習 3」
- 1 8. 「栄養素の種類とはたらき③ (たんぱく質, たんぱく質を多く含む食品)」
- 1 9. 「調理実習 4」
- 2 0. 「栄養素の種類とはたらき④ (ビタミン)」
- 2 1. 「調理実習 5」
- 2 2. 「栄養素の種類とはたらき⑤ (ミネラル)」

<定期試験>

#### 3 学期 (1月～3月)

- 2 3. 「衣生活・着るといふこと① (何のために着るのか, 衣服は何でできているのか)」
- 2 4. 「衣生活・着るといふこと② (洗剤と洗濯, 衣服管理の達人)」
- 2 5. 「消費社会を生きる① (行政や金融機関への届け出, 契約, 家庭経済)」
- 2 6. 「消費社会を生きる② (悪質商法, 消費者問題とその変化, 消費者の自覚)」
- 2 7. 「家庭科まとめ (自分の生きる世界を見つめる, 共に生きる)」

<定期試験>